

赤沢宿

石畳の急な坂道が続く「身延往還」。
その両側に、かつて宿であった古い建物が並ぶ。

多くの参拝客でにぎわった
山あいの小さな宿場町

南アルプスの山あいにたたずむ静かな集落、早川町赤沢。日蓮宗の総本山・身延山と霊山・七面山を結ぶ参道「身延往還」の途中にあり、江戸後期より、全国から訪れる参拝者の宿場町として栄えた。最盛期には、一日千人の宿泊

客でにぎわったという。しかし、七面山登山口までの車道が整備されると、客足は遠のいた。明治初期に9軒あった宿のうち、現在も営業しているのは1軒のみである。

つづら折りの参道沿いに、かつての宿が軒を連ねる町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、往時の雰囲気は今に伝えている。

旅館 大黒屋